

学 会 記 事

I. 平成29年度緑鳳学会第26回大会

1. 日 時 平成29年10月22日(土) 受付開始 10:30

2. 場 所 専修大学 神田校舎 7号館 3階 731教室

3. プログラム

(1) 研究発表会 【11:00~11:40】 7号館 3階 731教室

研究発表

発表者：日本獣医生命科学大学名誉学長 池本 卯典

テーマ：血液型の誘惑－血液遺伝標識の狩人達そして法医学・人類遺伝学への応用－

－ 60分休憩 －

(2) パネルディスカッション 【12:40~16:15】

統一テーマ：「ファミリー企業における事業承継（その一）」－親族内承継－
第一部

基調講演

発表者：中小企業庁事業環境部財務課 佐藤 二三男

テーマ：事業承継の現状と今後の政策展開について

－ 10分休憩 －

第二部

報 告

・ 報告Ⅰ

報告者：楠 政己（公認会計士）

テーマ：事業承継を円滑に進めるための課題と対策

・ 報告Ⅱ

報告者：小野 憲昭（北九州市立大学法学部教授）

テーマ：法務面からのアプローチ（相続法上の諸問題）

・ 報告Ⅲ

報告者：小杉 伸次（札幌学院大学名誉教授）

テーマ：法務面からのアプローチ（会社法上の諸問題）

・ 報告Ⅳ

報告者：谷口 智紀（島根大学法文学部准教授）

テーマ：税務面からのアプローチ

・ 報告Ⅴ

報告者：鯨岡 健太郎（公認会計士・税理士）

テーマ：税務面からのアプローチ

— 10分休憩 —

第三部

パネルディスカッション

テーマ：経営権および事業用資産の分散回避をめぐって

(3) 総会・懇親会【16:30～18:00】場所：1号館14階「学生ホール」

1) 総会

1. 開会の辞

1. 挨拶

専修大学緑鳳学会会長 小杉 伸次

専修大学長 佐々木 重人

学校法人専修大学理事長 日高 義博

1. 議事

1) 会務報告

2) 監査報告

3) その他

1. 閉会の辞

2) 懇親会

II. 役員会の開催

【平成29年度第2回役員会】

1. 日時 平成29年10月21日(土) 11:40～12:40

2. 場所 神田校舎7号館8階 784教室

3. 出席者 池本卯典、小杉伸次、伊吹克己、高橋敏、宮岡孝之、近江吉明、大澤史伸、三森敏正、矢吹芳洋、森田悦史、矢邊均

4. 議題

議事に先立ち、小杉伸次会長より、挨拶があり、引き続き宮岡孝之代表幹事が議長となり、議事に入る。

(1) 平成30・31年度緑鳳学会役員改選について 【資料1】
原案どおり承認され総会に諮ることとされた。

(2) 専修大学緑鳳学会規約(案)について 【資料2】
第3条の母校の部分 専修大学および石巻専修大学 に修正する。
その他は原案どおり承認され、総会に諮ることとされた。

(3) 次年度大会の開催について
・開催日時について 平成30年10月27日(土)に開催することが承認された。

- ・開催場所について 神田校舎で開催することが承認された。
 - ・来年度の日程を小杉会長より総会で伝えることとなった。
- (4) 次回役員会の開催について
平成29年12月22日(金) 18時30分より開催することが承認された。
- (5) その他
- (1) 緑鳳学会総会等の実施について 【資料3】
- (2) 第26回大会総会議事録の署名者 2名について
時間の関係で次回に決めることとなった。
- (3) その他
- ・緑鳳学会入会について
以下の入会申込書が提示され、会員としての入会が承認された。
 - ・山本 直毅(准会員)
 - H24.3 専修大学 法学部 法律学科 卒業
 - H26.3 専修大学 法学研究科 修士課程 修了
 - H29.10 専修大学 法学研究科 博士後期課程 在学中
 - ・山口 俊行(正会員)
 - S60.3 専修大学 法学部 法律学科 卒業
 - H3.3 専修大学 法学研究科 修士課程 修了
 - H5.3 専修大学 商学研究科 修士課程 修了

【平成29年度第3回役員会】

1. 日 時 平成29年12月22日(金) 18:30~19:30
 2. 場 所 源来酒家
 3. 出席者 池本卯典、小杉伸次、伊吹克己、宮岡孝之、近江吉明、大澤史伸、岡田好史、坪井順一、三森敏正、矢吹芳洋、森田悦史、矢邊均
オブザーバーとして宇佐美嘉弘、坂詰智美、谷口智紀、松原直樹(次期幹事)が出席
 4. 議 題
議事に先立ち、小杉伸次会長より挨拶があり、引き続き宮岡孝之代表幹事が議長となり議事に入る。
- (1) 平成30年度専修大学緑鳳学会第27回大会開催について 【資料1】
配布資料に基づいて議論した結果、以下のとおり承認された。
- ◎開催日を平成30年10月27日(土)とする。
 - ◎開催場所は専修大学神田校舎とする。
 - ◎当日のスケジュールについては3月の役員会で話し合うこととする。
- (2) 機関誌「専修総合科学研究第26号」の発行(投稿者等)について
議論の結果、以下のとおり承認された。
- ◎投稿優先者は以下の1名とする。

〔第26回大会発表者〕

池本 卯典（日本獣医生命科学大学名誉学長）

◎その他の掲載論文については、例年どおり5～6編（予定）は会員に通知して執筆募集する。募集締切日を平成30年3月2日（金）とし、同時に第26回大会における研究発表者・パネルディスカッション◎投稿優先者は以下の2名とする。

テーマ募集も行う。

(3) 次回役員会の開催について

平成30年3月23日（金）15時00分より、神田校舎にて開催することが承認された。

(4) その他

(1) 緑鳳学会入会について

【資料2】

以下の入会申込書が提示され、正会員としての入会が承認された。

・種藤 博

H.9.3 法学部 法律学科卒業

H.11.3 愛知教育大学 大学院 教育学研究科 社会科教育専攻 修士課程
修了

(2) 専修大学緑鳳学会規約について

修正原案通り承認された。

(3) 第26回大会総会議事録の署名者 2名について

・三森 敏正先生・矢邊 均先生

(4) 緑鳳学会第27回大会の広報等について

・役員を2～3名グループに分けて、役割分担を決めて対応することにはどうかとの意見がでた。

・ホームページ担当・パネルディスカッション担当など。

・次回の役員会で、話し合うこととなった。

【平成29年度第4回役員会】

1. 日 時 平成30年3月23日（金） 15：00～17：00

2. 場 所 神田校舎7号館8階 784教室

3. 出席者 池本卯典、小杉伸次、伊吹克己、高橋敏、宮岡孝之、近江吉明、大澤史伸
岡田好史、坪井順一、三森敏正、森田悦史、矢邊均
オブザーバとして坂詰 智美・松原 直樹（次期幹事）

4. 議 題

議事に先立ち、小杉 伸次会長より挨拶があり、引き続き宮岡 孝之代表幹事が議長となり議事に入る。

(1) 平成30年度専修大学緑鳳学会第27回大会開催（タイムスケジュール）について
研究発表の後に、『統一テーマ』を設けて報告会・パネルディスカッションを行うという
ことに基づき議論がなされ、以下のとおり承認された。

○研究発表会について、大学院生1名以上を含め2名と想定し、発表時間はそれぞれ60分とする。

○研究発表会に続き、報告会を4名程度で行いその後、パネルディスカッションを行う。

(2) 第27回大会研究発表希望者について

3月2日までに申し出のあった会員2名(石口 修氏・山本 直毅氏)を研究発表者とするについて承認された。さらに、例年どおり本学博士後期課程在学中の院生に対し、4月に大学院生用掲示板にて研究発表者募集を行うことと、募集人数を若干名とすることが承認された。

(3) パネルディスカッションの統一テーマについて

『統一テーマ』については、次回の役員会までに会長一任で4月末までに決めることとする。

(4) 機関誌「専修総合科学研究第26号」原稿掲載希望者について

- ・9名の投稿希望者がいたことが報告された。
- ・巻頭言は小杉会長が、編集後記は宮岡代表幹事が担当することが承認された。
- ・原稿提出期限を平成30年6月14日(木)原則として提出期限を過ぎて提出した場合には、次号以降に掲載することを、予め投稿希望者に対して通知しておくことが承認された。

(5) 平成30年度第1回役員会の開催について

平成30年6月29日(金)18時30分より神田校舎で開催することが承認された。

(6) その他

小杉会長より、池本先生の叙勲お祝い会の報告とお礼がなされた。

小杉会長より、追加議題として資料が配布され、それに伴って説明、意見交換がなされた。

[ビジョン策定・実現委員会]

A 学会のビジョンの策定(ビジョンに向けて短・中・長期計画をつくる)

-魅力ある学会とするためのロードマップ-

大会参加者 30名増

会員数 30名増 2021.10月迄に実現をめざす。

[名称変更委員会]

B 学会誌名・学会名の名称変更の是非

[パネル・ディスカッション実行委員会]

C 翌年度パネル・ディスカッションの統一テーマを考える

一般会員からの提案がない場合。

提案があった場合それも含めて検討する。

[指名委員会]

D 役員改選期における次期役員案の策定

[基金運営委員会]

E 基金の創設について（内規の作成）

- ・第27回大会出席者有志から会費を含めて5,000円徴収することの是非。
- ・支出要件（イベント代〔例:第30回記念大会〕）、研究発表者への奨励、遠方からの出席者への交通費補助等）
- ・預金通帳管理者

上記A～Eを実現するためのインフォーマルな委員会を設置する。各委員会は委任事項を役員会に提案するような組織づくりを、したかどうかの提案がなされ、次回の役員会で議論することとなった。

【平成30年度第1回役員会】

1. 日 時 平成30年6月29日（金）18:30～19:20
2. 場 所 神田校舎7号館8階 782教室
3. 出席者 小杉伸次、伊吹克己、高橋 敏、宮岡孝之、近江吉明、大澤史伸、岡田好史、坂詰智美、坪井順一、谷口智紀、松原直樹、三森敏正、矢吹芳洋、森田悦史、矢邊均

4. 議 題

議事に先立ち、小杉 伸次会長より、挨拶があり、引き続き宮岡 孝之代表幹事が議長となり、議事に入る。

(1) 平成30年度専修大学緑鳳学会第27回大会プログラムについて 【資料1】

- ・研究発表者および発表順について
- ・大会当日の分担について 【資料2】
- ・その他

配付資料に基づき審議され、以下の事項が承認された。

- ◎会員の研究発表者の発表時間は40分とする。
- ◎研究発表者の時間帯については、次のとおりとする。
 - 研究発表Ⅰ山本 直毅氏・・・11:00～11:40
 - 研究発表Ⅱ石口 修氏・・・11:40～12:20
- ◎座長については以下のとおりとする。

研究発表Ⅰ山本 直毅氏・・・谷口 智紀先生
研究発表Ⅱ石口 修氏・・・宮岡 孝之先生

◎司会

研究発表会、パネルディスカッションは、三森 敏正先生とする。
総会・懇親会は、矢邊 均先生とする。

◎報告会のテーマ・発表順について

小杉 伸次先生に一任することが承認された。

◎監査報告は、森田 悦史先生とする。

(2) 機関紙 第26号発行掲載について 【議題表参照】

◎投稿希望者から原稿提出状況が議長より伝えられた。提出期限は6月14日

掲載順は（論説は投稿者の生年月日順にする）について、以下のとおり承認された。
『巻頭言』原稿 緑鳳学会会長 小杉 伸次（札幌学院大学名誉教授）

1) 【論説】横書

- ・高橋 則雄（専修大学大学院文学研究科博士後期課程歴史学専攻）S24
パリ・コミュニケーションの女性たち－「女性同盟」を検討する－
- ・矢邊 均（東日本国際大学経済経営学部教授）S35
行政権に関する司法審査におけるハードル
- ・松原 直樹（桐生大学医療保健学部教授）S37
フランス市町村協力自治体
- ・谷口 智紀（島根大学法文学部准教授）S57
事業承継税制をめぐる問題の検討
- ・小杉 伸次（札幌学院大学名誉教授）S23
第26回大会「パネル・ディスカッション」報告要旨
ファミリー企業における事業継承

2) 【論説】縦書

- 今井 清人（文芸評論家）S36
村上春樹の音楽Ⅶ『海辺のカフカ』を中心に

3) 【研究ノート】縦書

- 大澤 史伸（東北学院大学教養学部准教授）S41
非営利組織におけるミッションマネジメント

4) 【翻訳】横書

- 鈴木 敬夫（札幌学院大学名誉教授・湖南大学法学院兼職教授）S13
ナチズム国家の正法について
『編集後記』原稿 緑鳳学会代表幹事 宮岡 孝之（専修大学法科大学院教授・
弁護士）

◎木村 敏夫（流通科学大学商学部教授）・・・S28

デンマーク事業体の非財務業績の開示

3/2までに掲載希望を出していないため、今回どうしても、掲載したい理由書を提出してもらい内容を小杉会長と宮岡代表幹事に確認してもらい、掲載の有無については、2人に一任された。

(3) その他懸案事項について

【資料3】

意見交換をして継続的に12月に向けて検討することとした。

(4) その他

1) 次回役員会の開催について

10月27日（土）12：30より開催することが了承された。

2) その他

- ・緑鳳学会入会について

【資料4】

以下の入会申込書が提示され、准会員としての入会が承認された。

- ・横井 里保 H.28.3 鳥根大学法文学部卒業
- H.30.3 専修大学大学院法学研究科法学専攻修士課程修了
- H.30.6 専修大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程在学中

以 上